

第二回 学生支援 GP セミナー報告

2010.01.09

2010年1月9日(土)13:00~17:00 に名古屋キャンパス D 棟地階(D-B1 教室)において、学生交流センター主催の第二回学生支援 GP セミナーが開催されました。

今回のセミナーは、学内の学生、教職員だけでなく他大学の教職員の方々も参加され、文字通り、学生と教員と職員が全員で学びあう場となりました。

本学の青木副学長の挨拶の後、第1部では、東京工業大学の山田恵美子准教授と愛知淑徳大学の渡邊かよ子教授をお迎えしての基調講演が行われました。第2部では、本学の森山学生部長の司会進行のもと、本学人文学部の中村准教授を加えた4名によるパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換が繰り広げられました。質疑応答の時間には、会場から多くの質問が寄せられ、熱のこもった時間となりました。



東京工業大学の山田准教授からは、「3相の<ことづくり>で社会へ架橋する-問題解決型支援から成長促進型支援へ-」という題目で同大学における取り組みをご紹介頂きました。内容は、2006年度に文部科学省の学生支援推進プログラムの採択を受けてから、4年にわたる同大学における具体的な取り組みに関するものでした。大学の特色を生かした、独創性のある取り組み内容で、教職員、学生は大いに刺激を受けました。



続く、愛知淑徳大学の渡邊教授からの講演「学生支援におけるメンタリングの役割」は、高等教育におけるメンタリングの事例に関する内容でした。学生支援におけるピア・サポートの基礎となるスキルに関する知識の補完ができたように思います。



第2部のパネルディスカッションにおいては、南山大学における学生支援の現状と課題をお伝えし、各大学でのご経験によるアドバイスを頂くことができました。学生に向けての広報の工夫、ファシリテーションやリーダーシップのスキルをどのように学生が身につけていくかということについて、教職員の役割、といったプロジェクトを運営する上で課題となっている点、疑問点について、パネリストの先生方にご意見を頂きました。

質疑応答の時間のやりとりから、本学の教職員および学生の学生支援への関心の高さを改めて感じる事ができました。2010年度の新たな活動に向けて、皆で協力していこうというモチベーションをより一層高めることができる機会となりました。